

よしおは、軽々ときみちゃんを肩車して、その場で、駈け足のかっこ
をして言いました。

「きみ子、しっかりつかまっておけよ。最初からダッシュするからな。」
きみちゃんは、肩の上からキヤーキヤー言っ、よしおの頭をポンポン
とたたきました。

よしおたちの順番です。大きなお父さんたち五、六人の中に、少し入こ
んだきみちゃんの黄色い帽子が見えます。

パーン。

ピストルが鳴りました。よしおは、きみちゃんの足をしっかりつかんで、
最初から猛ダッシュをしました。

幼稚園の親子競技は、

親子のふれあいをする

ことが目的なので、最初

から全力で走るよしお

は、他のお父さんたちを

大きく引き離してしま

ました。それを見た、少

し勝気なお父さんが、急

にスピードを上げて追

かけましたが、よしおも

スピードをますます上げ

ていきますので、とても

追いつくことはできません。





よしおときみちゃんは、他のお父さんたちを大きくリードしたまま、一番でゴールしました。

会場中から、割れんばかりの拍手がわき起りました。

よしおが、ハアハアと肩で息をする度に、肩の上のきみちゃんの体が上下して、まるで、きみちゃんを小さく胸上げしているかのように見えました。

よしおは、何としても、何が何でも、きみちゃんを一番でゴールさせたかったのです。